

# 南砺市SDGs未来都市 市民会議 全体資料

令和6年1月15日

南砺市SDGs未来都市 市民会議

# 会議の概要

## 協議

南砺市のSDGsの取組状況について

- ①普及啓発の取組
- ②令和4年度市民会議からの提言に関する取組

## 報告

SDGs推進に関わる計画の改訂について

**協議**

# 南砺市のSDGsの 取組状況について

# 南砺市のSDGsの取組状況について

## ①普及啓発の取組

### 【取組のポイント】

- 南砺市におけるSDGsへの取り組み  
= **地域課題の解決**（令和4年度市民会議）
- 行動を拡大し繋ぎ合わせる  
（南砺市SDGs未来都市推進実施計画）

| 2020年～   | 2025年 | ～2030年  |
|--|-------|---|
| <b>STEP 1</b><br>【知る】  |       |   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・SDGsを理解し、地域の課題を知る。</li><li>・「誰もが笑顔で暮らし続けられるまち」の姿を思い描ける。</li></ul> |       | <b>【考える】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・自分に何ができるかSDGsの視点で考える。</li><li>・地域について語り合える「場」で、地域課題を共有する。</li></ul> |
| <b>STEP 2</b><br>【行動する】  |       |   |
| 市民、企業、各種団体、地域、行政のそれぞれができることから取組むことで、身近なところからSDGsの視点に立って行動する。   |       |   |
| <b>STEP 3</b><br>【行動を拡大し繋ぎ合わせる】  |       |   |
| 既存の事業を横断的に組み合わせたり、行政と市民、企業等が連携して取組んだりすることで相乗効果が生まれ、地域課題の同時解決を図る。   |       |   |

南砺市SDGs未来都市推進実施計画より

### 令和5年度の取組内容

地域課題を意識した行動を拡大し繋ぎ合わせるため、

- (1) 地域の企業・団体の活動を可視化
  - ・なんとSDGsパートナーインタビュー記事発信
- (2) 地域課題を意識した取組、連携を促進する企画の実施
  - ・SDGsカフェ
  - ・SDGs実践ワークショップ

## (1) 地域の企業・団体の活動を可視化

# なんとSDGsパートナーインタビュー記事発信

学生や地域おこし協力隊が「なんとSDGsパートナー」へSDGs視点でのインタビューを行い、地域のための事業・活動を紹介する記事を作成し南砺市HPで発信

7月  
富山県立大学の学生2名がふくみつつ（写真左）、  
得能建設工業(株)（写真右）へ訪問



10月  
地域おこし協力隊が「14歳の挑戦」として  
職業体験中の中学生3名と一緒に(株)谷口板金へ  
訪問



12月  
富山県立大学の学生2名がFunny's Kitchen（写真左）、  
安達建設(株)（写真右）へ訪問 ※記事作成中



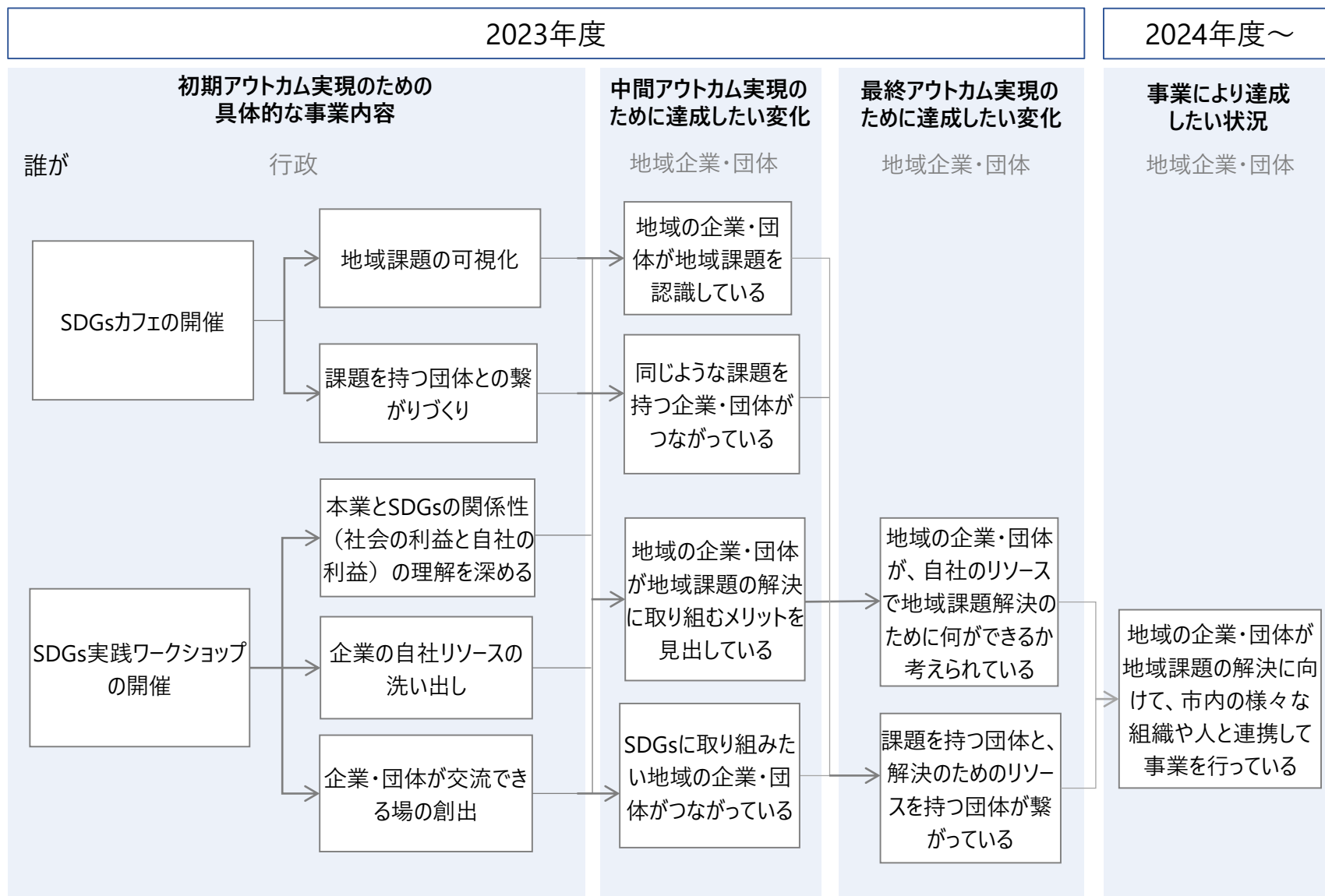
記事はこちらのQRコードから  
ご覧いただけます



(2) 地域課題を意識した取組、連携を促進する企画の実施

# SDGsカフェ・SDGs実践ワークショップ

## ロジックモデル





# SDGsカフェ

各回テーマを設定し、活動の背景や課題、そこにかける思いなどを伺い、参加者みんなで緩やかに対話し、気づきや感想を共有しながら、新たな視点やつながりを得ていく「カフェ」感覚の交流会

## 第1回 地域の居場所



## 第2回 農業と資源循環



## 第3回 野生動物との共生



本アイコン画像のビジュアルは、南砺市の福祉事業所「花椿かがやき」の利用者の方によるもので、「ご当地フォント」という仕組みを利用して作成しました。

# SDGs実践ワークショップ

地域企業や団体が自らの業務や事業をSDGs目線で整理し、自社も地域や社会もより良くなっていけるアクションを、具体的な地域課題も捉えながら考える2回シリーズのワークショップ

## 第1回 基礎編

南砺市とSDGs推進に関する連携協定を締結する三井住友海上火災保険㈱の「自社事業SDGsチェックシート」を活用して、自社の強み・弱みを整理し、企業・団体間の連携のあり方を考えました。



## 第2回 実践編

南砺市の実際の地域課題を捉え、自社の強みを活かして、また異なる強みを持つ他社と連携することで、課題に対してどのようにアプローチできるか検討。



# その他のSDGs普及啓発に関する取組

## ■ 出前講座、ブース出展等による啓発活動

小中学校の授業や地域の研修でSDGsについて学ぶ出前講座を実施。  
また、地域のイベント等で体験型SDGsブースを出展



小学校で地域の取組を中心としたSDGsに関する講義



なんとSDGsボードゲームを活用した高齢者向け講座



SDGsカードゲームを活用した中学生への講座



ショッピングセンターでのブース出展

## ■ となみ青年会議所との連携企画

夢や目標が叶う持続可能な地域を目指して、「夢や目標が叶うために必要なこと」について地域の方の意見をまとめたデジタルパンフレットを制作



## ■ 富山国際大学との連携

富山国際大学と連携し、学生がSDGs視点で地域づくりを学ぶためのフィールドワークを市内で行い、課題解決につながる提案を発表



市内各地の事業所を訪問するフィールドワークを実施



南砺市で提案発表会を実施。提案を受けて学生と一緒に取り組む団体も



# 課題と今後の取組方針

## 課題

- ▶なんとSDGsパートナーインタビュー記事発信数がまだまだ少ない
- ▶SDGsカフェ・ワークショップでは、設定するテーマによっては地域の方々の関心が薄く参加者が集まりにくい
- ▶啓発に取り組んだ効果（地域の方が行動に移せているか）が把握できていない

## 今後の方針

- ▶なんとSDGsパートナーインタビュー記事発信数を増やし、地域での取組の可視化、連携を促進していく
- ▶地域の方々が感じる課題や取り組んでいくべきことなどヒアリングを行い、具体的なテーマを設定し、テーマに関わるあらゆる立場の方々が参加いただける場を企画することで、地域の課題解決・取組促進を図っていく
- ▶カフェ・ワークショップや出前講座の参加者に後日アンケート等を実施することで、意識・行動変容を把握する

# 南砺市のSDGsの取組状況について

## ②令和4年度市民会議からの提言に関する取組

| 側面        | No. | 提言  |
|-----------|-----|---|
| 環境        | 1   | 環境省が脱炭素のモデル地域づくりとして全国に募集している脱炭素先行地域に手を挙げ、森里川海プロジェクトの推進と地域の活性化（特に地域交通の課題解決）に取り組むこと |
| 社会        | 2   | こども食堂を地域づくり協議会でも実施していただくなど、地域に子どもたちを中心としたあらゆる世代が集える居場所をたくさんつくること                  |
|           | 3   | 若者を支える“大人”への働きかけを行い、SDGsを意識した教育活動を展開していくこと  |
|           | 4   | 南砺市在住の外国人が安心して生活できるよう、地域とのつながりを持てる体制をつくること  |
| 経済        | 5   | 農業の再生という地域課題の解決に取り組む基盤整備の実現に向けて、農業者・加工業者・販売者と行政及び市民等で構成される会議体を創設すること              |
|           | 6   | 市民のエシカル消費に対する意識を向上すること  |
| 3側面に繋がる取組 | 7   | SDGsを実現するための主役である若者が自主的にアクションできる体制・風土をつくること                                       |
|           | 8   | SDGs実践マップを作り、市内のSDGsの取り組みを“見える化”し、取り組みを拡大すること                                     |
|           | 9   | みんなの意見で住みたいまちをつくるために、意見交換できる場をつくること   |

# 提言に関する主な取組状況 **-環境-**

① 環境省が脱炭素のモデル地域づくりとして全国に募集している脱炭素先行地域に手を挙げ、森里川海プロジェクトの推進と地域の活性化（特に地域交通の課題解決）に取り組むこと

## **取組状況**

- ・脱炭素先行地域の令和5年度での申請は見合わせるようになった。
- ・令和5年7月に市及び関係事業者と設置した市脱炭素推進会議を中心に、環境も経済も好循環できる具体的な対策を検討している。
- ・森里川海の取組として、行政、北陸コカ・コーラボトリング(株)、森林関係諸団体が連携して「うるおいの森づくり」植林活動を実施している。

## **課題**

- ・脱炭素先行地域の申請に向けた事業として、木質バイオマス発電所や小水力発電等の事業性を検討していたが、バイオマス燃料の確保や電力の販売単価等に課題がある。
- ・市営バスデマンド運行の実証実験を実施したが、公共交通を使い慣れていない方が多く、市営バスをはじめとする公共交通利用に関する普及啓発が必要。

# 提言に関する主な取組状況 **-社会-**

②こども食堂を地域づくり協議会でも実施していただくなど、地域に子どもたちを中心としたあらゆる世代が集える居場所をたくさんつくること

## 取組状況

- ・子どもの居場所づくりを実施する団体の支援により、取組の輪が広がり、地域の居場所が増えてきている。  
南砺市子どもの居場所づくり促進事業補助金 令和5年度：地域づくり協議会 5件  
富山県子どもほっとサロン事業を活用した子ども食堂立ち上げ支援 令和5年度：任意団体・飲食店 2件
- ・令和5年度より地域づくり協議会への補助メニューに子ども食堂の実施への助成を新設。多世代が集える地域食堂を実施する地域が出てきている。

## 課題

事業に継続的に取り組むための人材確保、単発イベントにならないよう地域の理解を深めることが必要。

③若者を支える“大人”への働きかけを行い、SDGsを意識した教育活動を展開していくこと

## 取組状況

イベントやブース出展、小中学校のふるさと教育における取組発表を通じて、子供だけでなくその親や地域住民、教員へも意識啓発を図っている。

## 課題

出前講座は小中学生や地域の高齢者の参加が多く、働き世代（親世代）の方々の受講機会が少ない。



# 提言に関する主な取組状況 **-社会-**

④南砺市在住の外国人が安心して生活できるよう、外国人が地域とのつながりを持てる体制をつくること

## **取組状況**

- ・外国人が抱える困りごとやニーズを把握するため、令和5年度に外国人住民を対象としたアンケート調査を実施。ことばに起因する事項が多く、従来から実施している日本語教室の拡充と、大学等の協力を得て運営体制の充実も図ることとしている。
- ・南砺市友好交流協会、にほんご広場などの協力を得ながらテーマや対象を見定め、広聴事業を実施。令和4年度は「防災」、令和5年度は「子育て」をテーマとして、困っていることや悩んでいることなどについて、リアルな声を聞くことができた。テーマを定めながら多くの意見やアイデア聴く場として、また外国人の方が意見や情報共有できる場として広聴事業を実施していき、施策立案に生かす。

## **課題**

- ・アンケート回答率が低い（約3割）
- ・地域づくり協議会では、外国人との交流活動はほとんど行われていない。

# 提言に関する主な取組状況 **-経済-**

⑤農業の再生という地域課題の解決に取り組む基盤整備の実現に向けて、農業者・加工業者・販売者と行政及び市民等で構成される会議体を創設すること

## **取組状況**

令和4年度に「有機農業産地づくり推進緊急対策事業」の検討会を設置し、生産者、加工、販売、消費に関する方々と産地の自立に向けた活動を進めている。

## **課題**

有機農業者の栽培技術の確立、収量の安定確保、販売先確保、収益向上

⑥市民のエシカル消費に対する意識を向上すること

## **取組状況**

- ・ 出前講座やブース出展による啓発活動を実施。
- ・ 商工会によるプレミアム付き商品券の発行を支援し、市内での消費喚起につなげている。
- ・ 伝統的工芸品産業に対して、事業継続や工芸品購入補助などの支援を行っている。
- ・ 地産地消、地場産物の周知啓発用品（下敷き）を小・中学校へ配布。
- ・ 農薬・化学肥料不使用の地元農産物を使用したなんと自然給食ものごたりに実施（令和5年度 学校給食4回実施）
- ・ 福野市民センター車庫で、令和5年10月に株林商店が不用品の回収・販売を行う「Re・なんと」を開業

## **課題**

市民の理解を深めて行動変容につなげるための方策が必要

# 提言に関する主な取組状況 -3側面に繋がる取組-

⑦SDGsを実現するための主役である若者が自主的にアクションできる体制・風土をつくること

## 取組状況

- ・若者の取り組みを後押しする高校生プロジェクト「ボクなん」を実施して3年目。現在高校生15名で活動しており、令和5年度は「地域とのつながり」をテーマとし、地域イベントへの出展やアオハル祭inクリスマスマーケットを開催した。
- ・小中学生を中心に構成される南砺市こどもの権利委員会「こども部会」が令和5年6月より活動しており、南砺市がどんな市になってほしいか等話し合われている。その取組の一つとして、11月に開催されたイベント「なんとGROW TOGETHER」において、子どもから大人まで楽しめる企画を実現させた。

## 課題

- ・（公財）南砺幸せ未来基金による学生の地域での活動を対象とした助成事業を実施しているが、まだ実績はなく、事業の周知や必要に応じて内容の見直しが必要。
- ・「ボクなん」は、本事業が高校生の記憶に残り将来ふるさと南砺に戻ってくることを目標としており、すぐに成果がでるものではないことから、長期的な視点で見えていただけるよう地域の理解が必要。

⑧SDGs実践マップを作り、市内のSDGsの取り組みを“見える化”し、取り組みを拡大すること

## 取組状況

なんとSDGsパートナーの登録により、南砺市でSDGsに取り組む事業者を見える化。令和5年度からは、大学生等と連携してパートナーへ取材を行いインタビュー記事を公開しており、より具体的な取り組みが分かるよう発信している。

## 課題

- ・パートナー以外の取り組みの収集、マッピング方法については今後検討
- ・発信した情報が地域に届いているか確認が必要

# 提言に関する主な取組状況 -3側面に繋がる取組-

⑨みんなの意見で住みたいまちをつくるために、意見交換できる場をつくること

## 取組状況

(地域づくり協議会の取組)

・若者世代や女性が地域づくり協議会の様々な取り組みに主体的に関わって、地域住民一人一人が必要な役割を分担できるよう、令和5年度に地域を対象としたジェンダーギャップ解消セミナーを開催。人口減少や高齢化が進む中でも、安心して楽しく暮らしやすい持続的な地域づくりを意識を変えながら行っていく。

(地域の意見を反映したまちづくり)

・小矢部川公園を中心に地域の若者が主体的に実施するにぎわいづくりを進める「かわまち準備室」が令和5年6月に設置され、定例的に具体的な取り組みについて協議されている。

・井波地域において地域住民との意見交換を重ね、2040年の地域の未来を描き、地域住民が目指すべき目標と目標達成に向けた戦略が「井波まちづくりビジョン」としてまとめられた。今後、ビジョンの実現に向けて法人を設置し、地域住民が主体となって、優先順位をつけて取り組んでいく。

## 課題

様々な分野において意見を言う場（会議）はあるが、一部の方しか参加していない状況であったり、関心を持たない方も多いため、誰もが意見を言いやすい環境・場づくりが必要。



# 今後の取組方針

委員の皆様から意見を頂き内容をアップデートしていきながら、引き続き本委員会からの提言として庁内全体に呼びかけ、重点的に取組を推進していきます。

各提言への取組状況や課題に関して、

- ・ 普段の活動や生活において感じること
- ・ 市民や事業者への行動につなげるアイデア
- ・ 課題解決のための提案

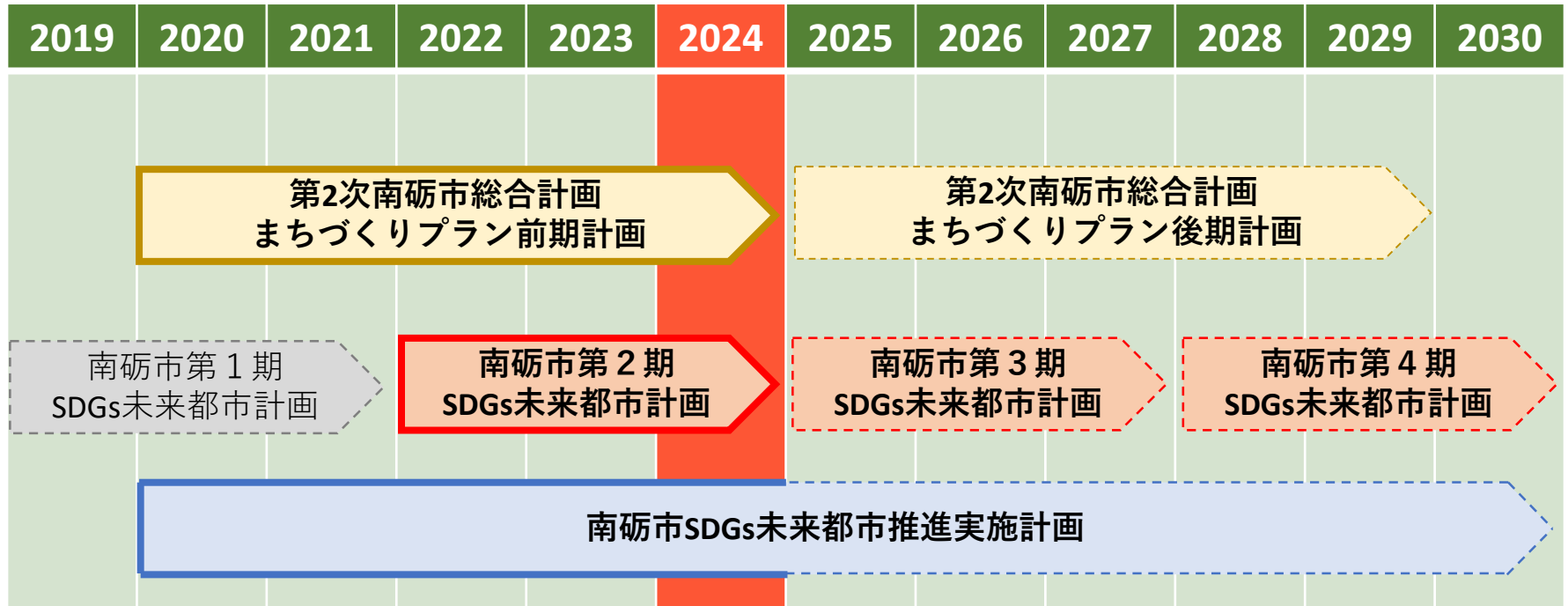
など、自由にご意見いただけますと幸いです。

# 報告

## SDGs推進に関わる 計画の改訂について

# SDGs推進に関わる計画の改訂について

- ①南砺市第2期SDGs未来都市計画
- ②南砺市SDGs未来都市推進実施計画（アクションプランの位置づけ）



2024年度に「第2次南砺市総合計画まちづくりプラン」の改訂と併せて①②の計画の見直しを行う